

平成23年度
リニモ沿線地域づくり活動促進事業

リニモ沿線地域の農産物の
魅力発信による地域活性化
事業実施報告

名古屋商科大学 地域活性化研究チーム
グループ代表者 亀倉正彦

名古屋商科大学地域活性化研究チームの活動 3年間の振り返り～思いは一つ～

①H21年度

長久手古戦場駅再開発「リニモテラス構想」に伴う
周辺地域の活性化。サイクリングコース開発など

②H22年度

第1回スイーツフェスティバルの開催
長久手の真菜と米粉の認知向上に向けて

③H23年度

第2回スイーツフェスティバルの開催
プチヴェールと真菜・米粉を中心にリニモ沿線地域の
魅力発信

1. 活動の目的

- 学生の手による、リニモ沿線地域の農資源の魅力発信による地域活性化とイベントへの集客増加
- 農資源の安定的な生産と消費体制の構築に向けた協力・支援

2. 事業概要

(1) 学生による農資源の魅力発信

①商業施設における情報発信

- ☆ 米粉フェア(10月8日、9日)
- ☆ 農林水産フェア(11月12日、13日)
- ☆ 栄屋上農園イベント(収穫祭(1月15日)

②名古屋商科大学学園祭(10月22、23日)

③スイーツフェスティバル(11月19日)

スイーツフェスティバルの役割

- 長久手町民以外の人たちとの関わり
ex 瀬戸市、日進市、名古屋
- 他の地域の人たちに「真菜」を知ってもらう



広い範囲の「真菜」の認知度
「真菜」、「米粉」の使用促進を図る



スイーツフェスティバル

出店店舗

- nicori factory
- お菓子のスイーツ・イソオ
- パティスリー・ハイ
- サンプラザ シーズンズ
- 水野珈琲



パネル出店店舗

- Taskファーム長久手
- 長久手町
- カフェフラワー
- 森乃談話室



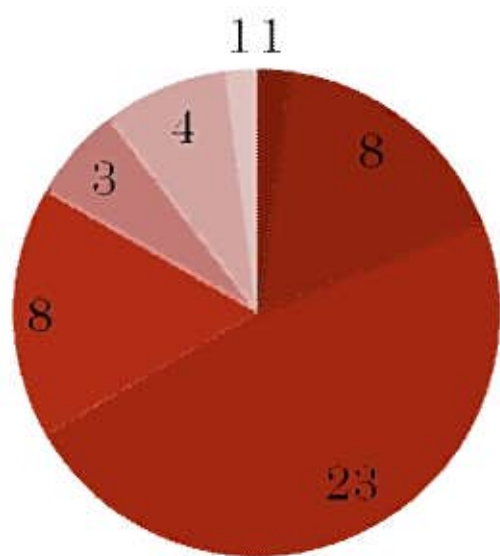
スイーツフェスティバル 結果

- 地元の5店舗の出店協力が得られた
- 真菜・米粉を使用したスイーツを製作していただけた
- 新聞掲載により、真菜という名前を知ってもらえる機会ができた



スイーツフェスティバル 結果

○ アンケートにより「真菜」の認知度が計れた



- 10代未満
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代以上



- 真菜知っている
- 真菜知らない



- 真菜食べたことがある
- 真菜食べたことない



(2) 地域資源の安定的な生産と消費体制の構築に向けた協力・支援

①生産体制

一定の品質の農作物を一定量供給可能か

②消費体制

供給された農作物は需要が見込まれるか

③流通体制

農作物は誰がコストを負担して運ぶのか

3. 地域づくりの観点から期待される 事業効果

- ・ リニモ沿線地域への地域外からの来客増加
- ・ 関係者のネットワークの拡大
- ・ 地域住民の地域資源への認知と理解の向上
- ・ 地域の発展を担う人材の育成

4. 最後に

全体として、本事業で構想し計画した事柄は、十二分に実施できたものと考えております。

これにより、リニモ沿線地域がますます発展していくことを祈念しつつ、そのためになしうることに全力で邁進したいと思っております。

今後とも、多くの関係者の方々の、ご指導ご鞭撻を賜ることができたら、大変幸甚に存じます。